

松本弘然著

# 「クイズ浄土真宗」より出題

## 浄土真宗では お盆の精霊棚は設けません。 それはなぜ？

イ、迷っている精霊を家の中に  
入れないため

### 3 択問題

ロ、追善供養ついでんくようをする必要がないから

ハ、仏壇が精霊棚の代わりになるから

精霊棚の精霊は、亡き人の霊魂という意味ですが、家庭で棚を設けるのは、身内の亡き人を呼び寄せ、供物を捧げ、棚経と呼ばれるお経を上げて供養するためです。つまりこの場合、亡き人はまだ仏になっておられない状態ということなのです。

しかし浄土真宗では、亡き人は自身の善悪にかかわらず、阿弥陀仏の絶対他力の救いによって、すでに浄土に生まれ仏になっておられるので、わざわざ精霊棚を設けて追善供養する必要はないのです。

ちなみに他宗派では亡き人の状態により精霊棚を置く場所が異なるそうです。不特定多数の迷っている亡者に対しては、町の辻々に設けて災いを起こさせないようにしました。これが施餓鬼です。また亡くなって間もない身内の霊魂に対しては、心が不安定なので縁側に棚を設けて気を遣いながらもてなし、安定した先祖の霊に対しては奥の間に設けて供養しました。家族を守護してくれるからです。

浄土真宗では精霊棚を設けずとも、阿弥陀さまとともに、いつでも私たちがのところにきて、心をかけてくださっていると味わっています。(本文より)



本願寺出版 1365 円

答え  
ロ

前任職の  
今号の一句

百度石  
わずか百度で  
叶ふ春

合格祈願や安産祈願など、何かお願い事がある時は神社の神様にお参りしますね。一方、お寺にお参りするとはありません。なぜなら、お寺の仏さまはお願い事をかなえてくれる存在ではないからです。仏教では、お願い事をするのは私たち人間ではなく、仏さまであると説かれています。いつでも私のことを気にかけて、「幸せになりますように」とそう願ってくださいという仏さまなのです。

それにしても、お百度参りのことは、今の若い人は知らないかもしれませんね。